

令和 4年度予算見積調書

課室名：農業支援課
 担当名：新規参入支援担当
 内線：4052 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B42	未来型農業教育環境整備事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	農業後継者育成対策費		
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	無し			針路	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール	4
	令和 5年度			分野施策	1201	農業の担い手育成と生産基盤の強化	SDGsターゲット	4-4		
1 事業の概要				5 事業説明						
<p>eラーニングシステムの導入等により、遠隔講義など新たな生活様式に適合した高度な農業教育を行う環境を整備する。</p> <p>また、農業高校生、農業大学校生等に対して適切な指導・支援を行うことで、質の高い就農者を育成する。</p> <p>(1) 農業教育デジタルアーカイブ化事業 2,504千円</p> <p>(2) 高校生・農業大学校生就農促進支援事業 2,765千円</p> <p>(3) 農業大学校カリキュラム充実事業 2,670千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 農業教育デジタルアーカイブ化事業 2,504千円 eラーニングシステム導入により、農業大学校の講義をクラウド内に蓄積し、場所や時間を問わず教育を提供する体制を構築する。</p> <p>イ 高校生・農業大学校就農促進支援事業 2,765千円 農業教育連絡会議、農業大学校における宿泊研修、農業法人合同説明会等を実施し、就農を目指す高校生の総合的な支援を行う。また、キャリア教育やチャレンジファームを行い、農業大学校生の就農率向上を図る。</p> <p>ウ 農業大学校カリキュラム充実事業 2,670千円 学生の卒業後に必要な学習を体系的に行うことを目的として、専門的講義が可能な外部講師等を活用してコース別学習を行い、多様化する就農形態に対応可能な農業教育を実施する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 農業大学校へのeラーニングシステム導入による教育の高度化 講義内容のデジタルアーカイブ構築、遠隔講義の実施</p> <p>イ 高校生・農業大学校生の就農支援連携強化 農業教育連絡会議開催（8地区）、宿泊研修（40人）、キャリアコンサルタントによるキャリア教育、農業法人におけるインターンシップ、チャレンジファームの実施</p> <p>ウ 農業大学校のカリキュラム充実 学生が希望する進路に対応した農業教育を行うための外部講師による専門的講義の実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> いつでも・どこでも学修できる環境を整備し、学生の教育機会確保及び即戦力の担い手育成につなげる。 高校生・農業大学校生の就農率が向上するとともに、学生の進路希望に応じた適切な講義の実施が可能になる。 						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.8人=17,100千円										
				財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
予算額										
決定額	7,939							7,939	△5,296	
前年額	13,235							13,235		